



そよ風



Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

虹の架け橋、マーブルフェスタ2008を開催しました!

～やさしい♪楽しい♪おもしろい♪病院に、なあれ・・・～

去る2008年8月23日午後、病院5階講堂と講堂前廊下にて、病院ボランティアチーム「マーブルタウン」主催による夏祭り、「マーブルフェスタ2008」が開催されました。殺風景な講堂と廊下がボランティアチームの手によって夢の空間に大変身!です。活動資金は、病院職員からのカンパ。ボランティアと職員が一丸となって、お祭りを盛り上げています。

会場の講堂舞台では、歌にダンス、懐かしい8ミリビデオ映写とトーク、人形劇にコーラスと演目が盛りだくさん。廊下だって、バザーに工作コーナーなど縁日気分がいっぱいです。さらに栄養部による「わたがし・かき氷コーナー」や骨の丈夫さを測れる「骨塩定量コーナー」といった病院ならではの「お店」も大賑わい。たくさんの患者さんやご家族が来場され、楽しいひとときとなりました。

さて、ボランティアチームの「マーブルタウン」という名前には、「いろんな立場の人の、いろんなアイデアや元気をもらって、「マーブルチョコ」のように、カラフルで素敵なお店を作ろう!」という願いが込められています。市民の皆さんの代表であるボランティアと患者さんもお家族も職員も一緒に、「共に学び、育ち、歩む、市大病院」を目指しています。さあ、この記事を読んでおられる、あなた! 私たちの仲間になりませんか? そして一緒に、来年の夏祭りの「主役」になりましょう!

良質(QC)医療委員会・ボランティア活動ワーキンググループ
市大病院ボランティアチーム・マーブルタウン



舞台では、次々と楽しい催し物が行われ、手話ソング「ヒーロー」を合唱しているところです。



バザーや、いろいろなお店には、たくさんの方々に越えられました。(写真右、写真下)



病院職員からのカンパで、懇親会。(写真右)



理念

私たちは、医学部建学の精神である「智・仁・勇」に基づき市民の健康に寄与する質の高い医療を提供します

こころ豊かで信頼される医療人を育成します

医療の進歩にたゆまぬ努力を続けます

(大学病院の)めざすところ 基本方針

- ・患者本位の安全で質の高い医療を提供します
- ・地域医療の向上に寄与します
- ・健康・予防医学を推進します
- ・最新の高度医療を提供します
- ・人間味豊かな優れた医療人を育成します
- ・新しい診断法・治療法・予防医学の開発を行います
- ・質の高い多彩な研究を推進します



クリスマスコンサートのお知らせ

恒例のクリスマスコンサートが開催されます。第30回を迎える今回は、クリスマスツリーがきらめくロビーで一足早いクリスマスをお楽しみください。

- ★12月16日(火)17:15~18:00 病院1階 玄関ロビー
- ★大阪市音楽団のメンバー6名によるアンサンブル演奏



はじめまして! 市大病院のロゴマークです



病院職員が掲げるスローガン、3S『Smile! Service! Science! スマイル! サービス! サイエンス!』をロゴマークにしました。病院イメージキャラクター公募で受賞した医事運営課・西野係長の作品を元に作成。医学部建学の精神と病院の理念である『智・仁・勇』を表す三美神をモチーフに、3Sを3つの「ハート」イメージに重ねたものです。

安全管理対策室だより

～安全・安心で、みんな笑顔の病院づくり～

第2回 AED講習会って、なあに?

安全管理対策室では、日々、病院の医療安全向上に取り組んでいます。その一つとしての職員研修では、医療安全、感染防止、医薬品・医療機器の安全使用について学ぶほか、職員が気軽に参加できるAED講習会を開催しています。

AEDとは「自動体外式除細動器」。心臓が突然けいれんして血液を送り出せなくなった時に、電氣的ショックを与えて正常なリズムに戻す機器です。救急車が到着するまで、心臓マッサージといっしょにAEDを使用することで、救命率が倍増します。最近では、駅、学校や各種公共施設など、人が多く集まる場所に設置されているので、目にした方も多と思います。市大病院にも1階の正面玄関など院内10か所以上に設置してあります。AEDはだれでも使えるように作られていますが、操作方法を知らないと、いざという時にはなかなか使えなくてあわてるものです。そのため、医師以外にも看護師、医療技術職員、事務職員など病院中の職員が緊急



AED講習会をご見学される、高円宮妃久子さま



AED講習会の実施風景(写真上)と、AED(写真右)

時に使用できるよう訓練を行なうというのが、AED講習会なのです。AED講習会はスキルスシミュレーションセンターで開催されます。医療者や事務職員が参加し、楽しくトレーニングに励んでいます。将来的には市民の皆様も参加いただいで、いざ!というときに頼れる市民の輪が広がればいいな、と考えています。このように、安全管理対策室では安心の社会づくりにも貢献していきたいと思っています。

診療科紹介 骨・リウマチ内科

代謝内分泌病態内科学(骨・リウマチ内科)
講師 後藤 仁志

内分泌疾患、代謝性骨疾患、リウマチ性疾患の診療を担っています。これを読み替えますとホルモンの異常に関する疾患、骨の異常に関する疾患、筋骨格系の痛みを来す疾患となります。従って取り扱う疾患は多岐にわたります。具体的には甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患、カルシウム・リン代謝異常、その他の電解質異常、骨粗鬆症、骨軟化症、骨パジェット病、骨系統疾患、関節リウマチ、脊椎関節炎、痛みを伴う膠原病などです。これらを詳細にみますと、骨粗鬆症などは内分泌疾患でも代謝性骨疾患でもリウマチ性疾患でも見えてきます。近年、臓器別診療による必要以上の細分化により、疾患を診ているが患者様を診ていないという批判をよく耳にします。当科の取り扱う疾患はいずれも全身性の異常を来す疾患でありますので、無理な細分化を避け、内科らしく常に全身を

診る、患者様の病状全体を診ることをこころがけており、またそれが必要でもあります。実際の診療を担当するのは旧体制の第二内科、現在の代謝内分泌病態内科学および腎臓病態内科学のスタッフで、当科の歴史を反映しトータルなものの見方ができる医師がそろっております。この精神は、病棟、外来を担当するコメディカルスタッフにも共有されております。トレーニング中の研修医にも医療をしているという実感がわき、励みになるようです。

また、当科の歴史的なテーマであるカルシウム代謝というキーワードと全体的な診療ができることが結びつき、腎性骨異常栄養症、低リン血症性くる病、多中心性細網組織球症の治療に関しては随一の実績をあげ、世界的に評価されております。今後も、より良い医療のために努力して参りますのでよろしくお願いたします。



症例検討会(自科の入院患者様および問い合わせのあった他科の患者様、問題のある外来患者様についてスタッフ全員で詳細に検討します。)



当日のカンファレンス参加メンバー。全員が協力して常に最善の医療を提供できるようがんばっております。

集中ケア認定看護師について



集中ケア認定看護師としてICUに勤務しています。ICUは、内科・外科系を問わず、呼吸・循環など重要臓器の急性臓器不全の状態にある患者さまやその状態になる前の患者さまに対し、総合的・集中的に治療・看護を行う場になります。例えば、大きな手術直後のために集中治療が必要であったり、治療の経過の中で一時期に人工呼吸器が必要になったりした患者さまが入室されます。そのような集中治療を必要とする患者さまが、重症な時期を乗り越え、回復していく過程を支えることが、集中ケア認定看護師の役割になります。さらに、患者さまが重症な時期は、患者さまを支えるご家族の方もいろんな不安を抱いたり、病院の中でもICUという少し変わった環境で患者さまが治療を受けられる姿をみて、落ち込まれることもあります。集中治療室では治療が優先されます。その中でも患者さまのお気持ちに寄り添い、また同じように大変な思いをされているご家族のお気持ちにも寄り添い、できるだけ早期にICUを退室し一般病棟に帰ること、さらには退院されることを目標に日々看護を行っています。



写真は、人工呼吸器を使用中の患者様の口腔内を清掃している場面です。人工呼吸器を使用中とそれによって肺炎を起す可能性が高くなります。そのリスクを減らすために、鎮静剤投与中であっても、看護師が最低1日3回の歯磨きを行っています。

患者様の権利

- ・安全で質の高い医療を受ける権利があります
- ・自由意志に基づき治療を選択する権利があります
- ・十分な説明と情報提供を受ける権利があります
- ・セカンドオピニオンを希望される場合は、紹介を受ける権利があります
- ・人の尊厳を尊重した医療を受ける権利があります
- ・医療に関する個人情報やプライバシーが保護される権利があります
- ・健康教育を受ける権利があります

患者の皆様へのお願い

- ・あなたの健康に関する情報は、できる限り正確にお伝えください
- ・病院スタッフの説明がわかりにくい場合は、納得できるまでお聞きください
- ・診療上必要な指示や助言は、お守りください
- ・他の患者様の権利を尊重し、迷惑がかかることのないようにご配慮をお願いします
- ・治験・臨床試験に、ご協力をお願いします
- ・大学病院の責務である医療人の育成と研究に、ご理解とご協力をお願いします



病院ボランティアを募集しています！！

◆活動内容◆

- ・外来を中心とした患者さまへの院内案内
 - ・車椅子をお使いの患者さまやお身体の不自由な患者さまの移動介助
 - ・その他
- ※活動内容に関するアイデアにつきましても、今後考えていきたいと思っています。

◆お問合せ先◆

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7
大阪市立大学医学部附属病院 ボランティアルーム
TEL/FAX: 06-6645-2694
E-mail: volunteer@med.osaka-cu.ac.jp
★外来でオリジナルエプロンを着用しているスタッフにお声掛けください。

大阪市立大学医学部附属病院の概要

所在地 〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 初診受付時間 午前9時～午前10時30分
電話 (06)6645-2121 (代表) 休診日 土・日・祝日、12月29日～1月3日

診療科

総合診療センター、循環器内科、呼吸器内科、膠原病内科、生活習慣病・糖尿病センター、腎臓内科、骨・リウマチ内科、消化器内科、肝胆膵内科、小児科・新生児科、神経精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、核医学科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肝胆膵外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、女性診療科(産婦人科)、眼科、耳鼻いんこう科、麻酔科・ペインクリニック科、形成外科、血液内科・造血細胞移植科、老年科、神経内科

※本院は、専門医療を中心に医療を提供していますので、受診するには原則、診療情報提供書(紹介状)が必要です。

